

## 【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-65  
補助事業名 平成26年度 工作機械産業の基盤技術強化推進のための国際技術交流補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本工作機械工業会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

広く世界中から工作機械関連の研究者・技術者、ユーザーやディーラーの参加を募り技術交流を行うことにより、世界の工作機械・生産加工技術の高度化に資することを目的として国際工作機械技術者会議を開催する。

#### (2) 実施内容

##### ① 工作機械産業の基盤技術強化推進のための国際技術交流補助事業

(<http://www.jmtba.or.jp/>)

2014年10月30日～11月4日まで、東京国際展示場（東京ビッグサイト）にて、JIMTOF2014（第27回日本国際工作機械見本市）が開催された（来場者数：136,196名）。これを機会に、上記期間中10月31日・11月1日の2日間に亘り、東京ビッグサイト会議棟 レセプションホールAにおいて第16回国際工作機械技術者会議オーラルセッションを開催し、盛会裡に閉会することができた。

オーラルセッションでは、工作機械技術の今後の発展とものづくりの未来を見据えて、「明日を拓くものづくりイノベーション～先進的工作機械技術～」を総合テーマとした。同テーマの下、キーノートセッション「日欧米におけるものづくり戦略」及びテクニカルセッション「Additive Manufacturingが製造業に及ぼすインパクト」、「新たな構造材料の工作機械への適用」、「次世代のインテリジェント工作機械」の合計4つのセッションを設け、国内外の第一線で活躍されている研究者・技術者より2日間に渡り、計16の講演を行った。本セッションには世界各国より、工作機械メーカーのみならず、関連要素メーカー、ユーザー、大学等研究機関等より述べ433名の研究者・技術者の参加を得た。



## 2 予想される事業実施効果

今回会議では「明日を拓くものづくりイノベーション～先進的工作機械技術～」を総合テーマとして開催した。ものづくり立国である日本が製造業全体の高度化と国際競争力の強化を図る上で、イノベーションを基軸として社会の多様なニーズに応えていく必要があることを確認するとともに、新しい価値創造を実現するための工作機械技術として、急速な発展を遂げている積層造形技術との関わり、従来に無い特性を有する新構造材料の適用、複雑・多機能化する工作機械を活用するための知能化技術等、あらゆる観点から検証し、世界をリードするための先進的研究開発を推進する重要な機会となった。

このような業界主導による国内外の研究者・技術者が一堂に会した国際会議の開催は国内において本会議が唯一であり、世界トップレベルの工作機械技術を誇るわが国の国際的立場での貢献に対し、高く評価されると予想される。さらに、世界の先端研究開発に関する情報交換を行うことで課題を共有するとともに、人的ネットワーク構築することは、広く製造業における生産技術の高度化に貢献するものである。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

第16回国際工作機械技術者会議 論文集 (なし)

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本工作機械工業会

(イッパンシャダンホウジン ニホンコウサクキカイコウギョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号

代表者： 会長 花木 義麿 (ハナキ ヨシマロ)

担当部署： 総務部 (ソウムブ)

担当者名： 課長 鈴木 春美 (スズキ ハルミ)

電話番号： 03-3434-3961

F A X : 03-3434-3763

E-mail : [admi@jmtba.or.jp](mailto:admi@jmtba.or.jp)

U R L : <http://www.jmtba.or.jp/>